

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 3 部門第 3 区分
 【発行日】 令和 4 年 9 月 6 日(2022.9.6)

【公開番号】 特開 2021-155580(P2021-155580A)
 【公開日】 令和 3 年 10 月 7 日(2021.10.7)
 【年通号数】 公開・登録公報 2021-048
 【出願番号】 特願 2020-57931(P2020-57931)
 【国際特許分類】

C 0 8 J 5/22(2006.01)
 B 0 1 J 41/13(2017.01)
 B 0 1 J 47/12(2017.01)
 C 0 2 F 1/469(2006.01)

【F I】

C 0 8 J 5/22 1 0 5
 C 0 8 J 5/22 C E T
 B 0 1 J 41/13
 B 0 1 J 47/12
 C 0 2 F 1/469

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 8 月 29 日(2022.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

本発明のアニオン交換膜の製造方法は、アニオン交換基を導入可能な官能基又はアニオン交換基を有する単量体と架橋性単量体とを含む単量体成分、及び重合開始剤を含有するアニオン交換樹脂形成用の重合性組成物に酸性基または酸無水物基により変性されたスチレン系熱可塑性樹脂エラストマーを加えて、ポリオレフィン系基材の空隙へ含浸させる含浸工程と、前記含浸工程の後に、前記単量体成分を共重合させる工程とを含む構成を有している。ここで、前記ポリオレフィン系基材はポリエチレン系織布であってもよい。また、アニオン交換基を導入可能な官能基又はアニオン交換基を有する前記単量体は、アニオン交換基を導入可能な官能基又はアニオン交換基を有するスチレン系単量体であってもよい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 請求項 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【請求項 8】

アニオン交換基を導入可能な官能基又はアニオン交換基を有する単量体と架橋性単量体とを含む単量体成分、及び重合開始剤を含有するアニオン交換樹脂形成用の重合性組成物に酸性基または酸無水物基により変性されたスチレン系熱可塑性樹脂エラストマーを加えて、ポリオレフィン系基材の空隙へ含浸させる含浸工程と、

前記含浸工程の後に、前記単量体成分を共重合させる工程とを含む、アニオン交換膜の製造方法。